



白山市立美川小学校

# 校長室だより

2025

一人一人が輝く  
★チーム美川

令和7年7月15日  
白山市立美川小学校  
白山市美川和波町ワ229  
TEL 278-2063

## 「あんぱん」とアンパンマン～親子で考える平和のかたち～

校長 中野 和人

1学期の終わりとともに、子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。

これまでの本校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。2学期も引き続きよろしくお願ひします。

現在、NHK朝の連続テレビ小説「あんぱん」が放送されています。ご覧になっている方もいらっしゃるかもしれません。このドラマは、国民的キャラクター「アンパンマン」の作者・やなせたかしさんの人生をモデルとして描いた作品です。子どもたちにとって身近なアンパンマンですが、その誕生の背景には、深い悲しみと平和への強い願いが込められています。



やなせさんは、若い頃に戦争で兵役を経験し、戦地で過酷な日々を過ごしました。そして、最も心を痛めたのは、出征した弟さんが、戦地で命を落としたことでした。弟さんは、やなせさんにとってかけがえのない存在でした。その喪失は、やなせさんの心に深い傷を残し、「正義とは何か」「人を救うとはどういうことか」を問い合わせ続ける人生の原点となりました。

アンパンマンは、顔がアンパンでできていて、おなかがすいた人に自分の顔を分け与えるヒーローです。自分の顔を食べさせることに対して「残酷だ」という批判もありましたが、「正義の味方が最初にやらないといけないのはひもじい人を助けること」「正義を行う人は自分が傷つくことを覚悟しなきゃいけないんだ」という主張を貫いたそうです。「戦争中に一番堪えられなかったのは飢えだった」と言うやなせさん。「子どもにとって一番大事なことは食べること。だから登場するキャラクターは全部食べ物なんだ。」とおっしゃっています。力で敵を倒すのではなく、困っている人に寄り添い、助けることを大切にしています。

やなせさんは、「本当の正義とは、愛であり、思いやりである」と語っています。アンパンマンの行動には、戦争を経験したやなせさんの「命を大切にする」「人を助けることこそが正義」という強い願いが込められているのです。

8月には、広島・長崎への原爆投下の日、そして終戦記念日が訪れます。日本が戦争を経験し、多くの命が失われたことを思い出す大切な時期です。今、世界ではさまざまな場所で争いが続いている。遠い国の話のように感じるかもしれません、平和は私たち一人ひとりの心の中から始まります。

今年は戦後80年、この夏、ぜひご家庭でも「平和」について話し合う時間を持つていただければと思います。アンパンマンの物語や、やなせたかしさんの生き方に触れながら、「人を思いやること」「違いを認め合うこと」「命の大切さ」について、親子で考える機会になれば幸いです。

子どもたちが、優しさと感謝の気持ちを育みながら、心豊かに夏休みを過ごせることを願っています。

